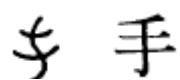
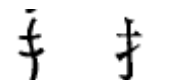


手に関する部首

手に関する部首は、古い字形を見ると、皆、ほとんど同じ形をしています。それが、次第に変化してきて、今見るような、それぞれに違った形をするようになりました。

 **手**は、独立して用いられる“手”そのものを表わした象形字です。音は取です。部首としては、「拳・掣・撃」など、脚に用いられます。

 **扌**は、扁です。
打は、釘の象形であり、釘の本字である **丁** と **扌** との会意形声字で、“釘をうつ”のが本義です。音は **丁**。普通は唐音ダ。打開。

扌は、“**手**でおし**広**げる”という意味の字で、**扌** と **広** との会意形声字です。音は **広** が変化してカク。拡大、拡張。


扌は、多くの中から、“**少数を抜き取る**”という意味の字で、少と扌との会意形声字。“抜き書き”のこと。抄本、抄録。


扌は、石器(昔の農具)の意味の **石** と **扌** との会意字で、“農具を手

にして”農地を“ひらく”ことを表わした字です。音は、石(シヤク)が変化したタク。開拓、干拓。

扌は、震の意味の **辰** と **扌** との会意形声字で、“手を震わせる”こと。振動。

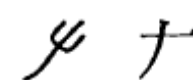
扌は、“逃げる人の足をつかまえる”という意味で“とらえる”ことを表わした字です。音は足。捕捉。

 **又**は、二つの手の並んだ形で、“ふたつ”“ならぶ”“**対**”などの意味を持った字です。双生児、強力無双、一双。

友は、 で、二人の手の重ねられた形。“助け合う”“とも”などの意味を表わしています。音は **又** です。友情、友愛。



反は、**厂** と **又** との会意形声字です。**厂** は崖の象形で、“ひっくり返りやすい”所です。反は、“手のひらをかえす”ことです。





収は、**収** と **又** との形声字で、“手に入れる”こと。音は **収** が変化してシュウ。収入。旧字は収で“罪人をとらえて責める”のが本義。



 **扌**は、食事の時、食べ物を口に運ぶ手という意味の字です。たすける(佑)という意味にも使われます。音



は又、呉音はウ。



左は、定規(立)を持つ手という意味の字です。やはり、たすける(佐)という意味があります。中国では、右を上位としているので「左遷」は、官位を下げられるという意味を表わします。「右顧左眄」は、左を見、右を見ることで、迷って人の様子をうかがい、“ためらう”という意味です。






右の原形は、で、左の原形はです。これが筆順にの影響して、「ノ一口」「一ノ工」となっています。



 
  雪は、手の上に載る雨という意味の字です。雨は手に載りませんが、“ゆき”なら手に載ります。




筆は、竹と聿との会意形声字です。聿は (ふで)の象形に (て)を加えた形で、筆を手を持つ意味の字です。“ふで”と“書く”との本字です。後に“ふで”は柄が竹ですので、竹が加えられて“筆”になり、“かく”には“日”が加えられました。








建は、 と聿との会意字で、“筆を動かし進める”つまり“計画をたてる”ことを表わした字です。音は が変化してケン。「建立」は呉音で読まれ、寺院をたてる意味に使われます。

律は、“てられた法文をわせる”という意味の字で、イと聿との会意字です。音は聿が変化してリツ。“法を守らない者を罰するきまり”という意味に使われています。律令、法律。

 
  受は で、上から渡す手と、下からこれを受け取る手との会意字です。音は手です。(現代中国語では、受と手とは同音です)




授は、 が“うける”ことを表わしているのので、これに を加えて“さずける”ことを表わした会意形声字です。音は手です。つまり「手」「受」「授」は、言葉としては一つなのですが、用法を明確にするために、三つに書き分けたのです。

争は、争が旧字体です。尹は、 (て)に (かぎ)を持った形です。それを奪い取ろうと手をかけた形が「争」です。“あらそう”こと。音は (爪)です。

    白は、左右の手の象形です。
  申は、 で、棒を両手で“引きのばす”意味を表わした字です。“のびる”ことから転じて“のべる(述)”意味に使われ、今では、専ら“もうす”意味に使われています。上申、申告、申請、内



申。




伸は、申が“もうす”意味に転用されたため、本義の“のばす”意味を表わすために作られた字です。人と申との会意形声字。伸縮。



 **共**はで、二つの手が一つの物を一緒に差し上げている形です。“一緒”という意味の字です。共同、共通。音は (キョウ)です。

供は、“一緒に仕事をする”という意味で、“手助け”“おとも”という意味を表わした字です。ととの会意形声字。呉音はク。



きょうしゅつ「供出」「くよう供養」は、共の本義である“ささげる”という意味で使われています。

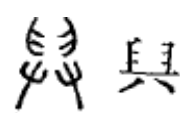



兵は、ととの会意字で、“武器(斤)を手にする人”という意味の字です。雑兵。


具は、貝の意味のととの会意字で、両手に溢れるほど財貨のあること、つまり、物の豊かに“そなわる”という意味を表わした字です。具備。転じて、“うつわ(道具)”の意味にも使われます。音は (ク)。




算は、との会意字で、“かずとりの竹”が本義の字です。数取りの“算具”です。数をかぞえるのに使うので“かぞえる(計算)”の意味

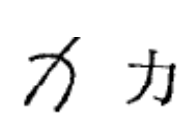


になりました。

戒は、武器の意味のととの会意字で、“手に手に武器を取って、敵の攻撃に備える”という意味の字です。“いましめる”こと。警戒、破戒。

 **興**は、と同の会意形声字です。“四つの手が共同して、一つの仕事にあたること”を表わした字で、そうすれば必ず盛んになるので、“おこる”という意味を表わしました。音は (キョウ)が変化してコウ。興隆、興亡。

與は、与の旧字体です。が“共にする”という意味を表わしています。“力を合わせる”ことだから、“くみする”、また“あたえる”意味にもなります。よとう与党、きゅうよ給与。

舉は、挙の旧字体で、ととの会意形声字です、“共に手をる”という意味の字で、構造的には、興や與とほとんど同じで、同じ意味に使われています。音はキョウがつまってキョ。挙国一致、選挙。

 **功**は、仕事の意味のと努力の意味のとの会意形声字。“努力して仕事をする”のが本義で、“てがら”の意味に使われます。

動は、**重**い物でも**力**を加えれば“**うご**く”という意味の字です。音は**重**がなまってドウ。

勉は、**免**と**力**との会意形声字。免は、娩の本字です。**𠂇**は入と𠂇(お尻の象形)の合字。人のお尻(𠂇)にさらに人(儿)を加えて“子を生む”意味を表わしたのが**免**です。**勉**は“分**娩**の時に力む”のが本義です。免は単独の時は、呉音でメンと読むのが普通です。勉強、勤勉。

努は、**奴**隷のように“つとめる”という意味の字です。“休みなくがんばる”ことです。音は奴。努力。

𠂇は、**手**に棒や鞭などを持った形を表わした字で、**𠂇** “**鞭、棒、武器**などを**揮**う”という意味の部首です。音はボクです。

牧は、牛に対して鞭を揮う意味の字で、“牛を飼う”ことを表わしています。音は**𠂇**。

教は、子供に対して鞭を揮う意味の字です。音は**𠂇**がなまってキョウです。

政は、世の不正を**打**ちこらしめて、**正**しきに導くという意味の字です。

音は**正**。

敗は、“**貞**を**打**ちこわす”という意味の字で、“やぶれる”ことを表わしています。音は**貞**です。

故は、**古**びた物を**打**ちこわすという意味の字ですが、“古い”という使い方と“こわす”という使い方と分かれています。音は古。故郷、故事。故障、事故。

救は、人の求めに応じて武器を揮い、“人をすくう”ことです。音は求。

改は、悪を犯した自己に自ら鞭を加えて再びしまいと、心を“あらためる”ことです。音は己(ki)。

放は、鞭を揮って、四方へ、つまり外へ“追いはらう”ことです。音は方です。

𠂇 **支** **支**は、沢山(十)の物を一手に“まとめる”意味と、その反対に、一つの手から沢山“分かれ出る”意味とあります。前者は“ささえる”こと。支点、支柱。後者は“分かれる”こと。支店、支流。

枝は、一つの幹から沢山分かれ出る“えだ”のことです。音は**支**。

肢は、体から分かれ出た“手足”のことです。音は^シ支。

翅は、鳥の手足にあたる“つばさ”のことです。音は^シ支。

攴

攴は、手に武器を持った形です。几は手裏剣のよう

な、投げつける武器の象形だと見られています。音は

^{シュ}手です。

投は、“手裏剣をなげる”のが本義で、今では、広く“なげる”意味に使われます。

毆は、**区**と**攴**との形声字で、“投げつける”のが本義の字ですが、今は、“手でなぐる”意味に使われています。音は^ク区が変化したオウ。毆打。

殺は、豕(si サイ・シ)の変形した^キ豕と**攴**の会意形声字で、“家畜を**打ち**ころす”のが本義の字です。今では、広く“ころす”意味に使います。音は^{サイ}豕、またはサツ。

殿は、**展**と**攴**との会意形声字で、“お尻を打つ”のが本義の字です。「臀」(しり)の本字です。軍隊が退却する時、一番後ろになることを「殿」(しんがり)と言います。今では「殿堂」など、高大な建物の意味に使われています。音は^{テン}展です。

役は、“**武器**を持って**行く**”という意味の字で、“戦争”または“いくさ仕事”の意味に使われています。戦役、兵役。昔から兵役は若い男子の義務として“勤めなければならない仕事”でした。大役、役人。音は漢音がエキ、呉音がヤク。